

会 議 録

会議の名称	第7回 戸田市自治基本条例推進委員会
開催日時	平成31年2月15日(金) 午後7時00分～ 9時00分
開催場所	戸田市役所 1階東側休憩室
委員氏名	<input checked="" type="checkbox"/> 大山 宣治 <input type="checkbox"/> 横山 誠 <input type="checkbox"/> 柴田 忠雄 <input type="checkbox"/> 山田 博満 <input type="checkbox"/> 細井 明美 <input type="checkbox"/> 雨木 恵美 <input checked="" type="checkbox"/> 播 義也 <input type="checkbox"/> 市川 悦夫 <input checked="" type="checkbox"/> 市ヶ谷 裕乙 <input checked="" type="checkbox"/> 飯田 峻平 <input type="checkbox"/> 伊藤 寛幸 <input type="checkbox"/> 林 公子 <input type="checkbox"/> 石川 清明 <input type="checkbox"/> 浅生 和英 <input checked="" type="checkbox"/> 池上 裕康 <input type="checkbox"/> 向野 絢子 <input type="checkbox"/> 松下 啓一 <input checked="" type="checkbox"/> 宮崎 快 (◎委員長 ○副委員長) (□出席 ■欠席)
説明のために出席した者等	(前自治基本条例推進委員会委員) 三輪 なお子 十川 拓也
事務局他	協働推進課 後藤課長 石原主幹 駒崎主事
議 題	(1) 焼津市自治基本条例 まちづくり市民集会大ワールドカフェ視察の振り返りについて (2) 平成31年度実施事業について (3) 戸田市自治基本条例の見直しの検討について (4) その他
会議の経過	別紙のとおり
会議資料	別紙のとおり
議事録確定	平成31年3月29日 委員長 大山 宣治

(会議の経過)

発言者	議題・発言内容・決定事項
	<p>1 開会</p> <p>2 挨拶 委員長挨拶</p> <p>3 議題 <u>(1) 焼津市自治基本条例 まちづくり市民集会大ワールドカフェ 視察の振り返りについて (報告)</u></p>
事務局	<p>会議資料に基づき説明</p> <ul style="list-style-type: none">・ 視察の目的・ 視察先・ 視察結果報告
委員長	<p>続いて、視察に参加した委員から感想や意見をうかがいたい。</p>
細井委員	<p>大ワールドカフェの雰囲気は和やかで、とても丁寧に接していただいた。会場はとても広く立派だった。会議室のような固い印象がなく、会場内には焼津市をアピールするものがたくさん展示されていた。</p> <p>運営方法として、委員やスタッフなどたくさん関係者で運営されていたと記憶している。</p> <p>ウェルカムドリンクコーナーが会場の中央に設置され、たくさんの種類の飲物・お菓子が用意されていて、グループトークが始まる前や休憩中に自由に飲食でき、ウェルカムドリンクのおかげで、和やかな雰囲気がつくりあげられていた。</p> <p>大ワールドカフェのテーマは、アイデアや知恵、経験、自分の思いなどをもとに楽しく話し合い、様々な年代の人たちとも話しやすい内容だった。グループトークの感想として、とても活発な意見が交わされていた。参加していた高校生も自分の意見をしっかりと持っていて、本当に素晴らしかったと思う。</p> <p>焼津市は戸田市と同じ規模の人口のまちという共通点があるが、漁師のまちという特徴から人柄が温かくとても良いまちの印象を受けた。都心に近い戸田市とは違って、焼津市は近所におじいちゃんおばあちゃんがいて、子どもからお年寄りまであいさつを自然に交わし、多世代交流も盛んのものであった。時間の関係上、大ワールドカフェの会場に直接行く行程だったが、焼津市内をバスで巡回し、まちの様子も見てみたかった。今回の視察で、市を超えてのコミュニケーションや、グループトークに参加できたことは、とても勉強になった。</p>
雨木委員	<p>大ワールドカフェの会場には、大漁旗や大凧、真っ赤な半纏が掲示してあり、活気ある雰囲気を受けた。</p> <p>グループトークのテーブルにテーブルクロスを敷いていることが、場を和ませる効果を出していた。会議のような印象を与えないような</p>

配慮がとても好印象だったので本市でも参考にしたい。

ウェルカムドリンクでは、キムチやコーンが入った練り製品、かつお節風味のポテトチップスなど、焼津市の特産品をPRしたものが用意されていた。大ワールドカフェの参加に緊張していたが、ウェルカムドリンクのおかげで緊張がほぐれ、周りの人たちとの会話や交流が自然にできて良かった。本市も、商店や工場がたくさんあるので、協賛していただき、自治基本条例の取り組みに巻き込んでいけたらと思う。それにより、より戸田市のことを知っていただくことにもなるのではないかと感じた。

話題提供された2団体の発表は、子どもを中心に、その保護者や教員、OB、地域の方による活動を紹介していた。子どもと接することは楽しく、子どものためなら何かやろうという動機や多世代交流のきっかけにもなるので、子どもを中心としている点が良いと感じた。

「人生100年時代に向けた～」というグループトークのテーマは、自分の将来を考える良い機会となった。参加者の中に、ボランティア活動をしている方がいて、子ども食堂やゴミ拾い活動をやっている方がいた。普段はこういうイベントには参加しないが、仲間を誘われて参加したとのことだった。仲間とみんなで参加すれば、参加のハードルが下がるので、ボランティア団体にも参加を呼び掛けているところも良い取組だと思う。

大ワールドカフェ以外に、配布された焼津市自治基本条例の三つ折りリーフレットにもとても参考にすべき点がたくさんある。

まず、表紙の「みんなが主役！」のフレーズが良い。裏表紙には、だれにでもできることが紹介されている。ここで紹介されていることをやることで、自分もまちづくりに参加しているんだという意識付けになる。最後に、「まちづくり市民集会に参加する」という言葉で締めくくられているところもポイントで、分かりやすく良いと感じた。

林委員

大ワールドカフェに参加して、会場の広さと参加人数の多さ、世代と男女比のバランスの良さがとても印象に残った。

市議会、行政、地区の長、ボランティア団体の代表者など、様々な立場の方、中には大学教授の方もいて、世代や仕事も様々な方が参加されている点も印象的だった。

戸田市の自治基本条例フォーラムは、今年度は参加者人数が少なく、参加者の立場や世代にも偏りがあるので、参考にできれば良いと思う。

参加者がみんな温かく、会話の中にも思いやりのある言葉がたくさん出てきたことがとても記憶に残っている。

三輪委員

温かい歓迎を受けながら、参加者の方と会話や交流ができたことに、本当に視察に参加して良かったという感想を持っている。

自治基本条例の先進的な取組を進めているまちで直接いろいろな話を聞いたことは、とても勉強になり、ここで得たことをつなげていかなければならないという思いをさらに強くする機会となった。

ボランティア団体（子ども食堂）、町会長、中老会（敬老会の一步手

	<p>前の年代)、ボディケアサロン、スポーツトレーナーの方などの参加者とグループトークの中で、豊富な話題で盛り上がり、多種多彩な方々との交流はとても楽しかった。</p> <p>テーマづくりについて、毎年大ワールドカフェのテーマを決めるための協議会を設けテーマ設定をしていくという取組も良いと感じた。</p> <p>人生100年時代を考えるとというテーマで、若い世代や高校生、高齢者の方も参加していて、みんなで共有できる共通したテーマで素晴らしかった。グループトークで、「健康」と「コミュニティを大切にすること」をみんな共通の意見として持っていたが、その中で、本当に素晴らしい意見と感じたのが、中老会の方のご意見で、「健康で長生きすることが良いことだが、孤独であることは嫌だ。地域での孤独、社会での孤独、家の中での孤独は辛い。」という意見である。</p> <p>今回の視察に参加して、人との交流・ふれ合いはとても大切であるということに改めて学ばせていただいた。大ワールドカフェには市議会議員が全員参加されているとのことで、こういう場に、市議会議員が参加することはとても大事なことと思う。本市で実施されている様々な催しに、市議会議員は積極的に参加していかなければならないと強く感じた。</p>
<p>向野委員</p>	<p>漁港のまちなので、大漁旗が印象的で、会場を盛り上げる雰囲気づくりに一役買っているという印象を受けた。</p> <p>ウェルカムドリンクは、お菓子を食べて来ていた高校生と会話をするきっかけになったり、どのお菓子がおいしいかなどを教えてもらいながら会話が盛り上がるきっかけになった。</p> <p>グループトークでは、焼津市職員（道路交通課）の方と同席したが、建物を建てるのに当たり、地域の方の意見を聞くことが大切なので参加しているということだった。</p> <p>グループトークのテーマは「福祉」と「オールやいづのまちづくり」だったので、はじめは入りづらいイメージがあったが、始まってみたらそんなことはなく、「近所づきあい」、「小さな子どもがいたら声をかける」など自分ができることを一つひとつしていこう話でまとめ、話しやすいテーマだった。</p>
<p>横山副委員長</p>	<p>市民が主体的に運営している印象で、市職員の方たちがバックアップしながら要所を抑えているところはあると思うが、「市民力」を感じさせる運営の手法と感じた。</p> <p>他にも、大漁旗の掲示、ウェルカムドリンクの企業協賛やふるさと納税との連携など、いろいろなところで焼津市をPRしていることが素晴らしいと感じた。大ワールドカフェに参加することで、まちの特産品を知ることができる、初めて参加した人は、特産品があることに気づかされる（気づくきっかけとなる）、これにより、まちの活性化にもつながる、とても考えられた仕組みである。アイデアとして持っていたとしても、実際行動に移すのは結構難しいことだが、それを実践していることは参考にすべき点である。</p>

	<p>受付・会場係の方などが腕章を付けていたことも行き届いた配慮の一つである。自分たちもそうだが焼津市民の参加者の方も、大ワールドカフェの歓迎ムードに、受け入れられているという安心感を与えられると思う。これだけの配慮があれば、初めて参加した人も嫌な思いをして帰る人はいないだろうと感じ、これはかなり大切なことで、主催者側の立場として、我々推進委員会も参考にすべき点である。</p> <p>グループトークに参加し、ある課題についてみんなで話し合うと、問題点や解決方法などは、だいたい共通するという事に改めて気付いた。戸田市と焼津市では、歴史もまちの気質も違うが、抱えている課題は大方同じで、考えることも共通する部分があった。課題と解決方法が共通するという事は、まちづくりを担うような方が一堂に会して協議会を設立したり、サミットを開催したり、集まる機会を持ち情報交換をしてネットワークを広げていくことで、課題解決の取組が活性化していくのではないかという思いを持った。</p>
<p>大山委員長</p>	<p>大ワールドカフェの冒頭の市長挨拶で、中野市長から、直接戸田市の自治基本条例推進委員会が視察に訪れていることをご紹介いただいたことにはとても感動した。</p> <p>大ワールドカフェの感想として、会場が広いこと、天井が高く音響効果が良いので声が響かないので、グループトークに集中できたことが印象に残っている。ウェルカムドリンクにより和やかな雰囲気ができていた。</p> <p>グループトークの進行も、1巡目と2巡目の席移動の際、前もってグループの割振がされているので、迷うことなくスムーズに移動ができた。グループのメモ役や進行役についても、積極的に引き受ける方ばかりでとても助かり、好感を持った。</p> <p>グループトーク終了後のグループ発表の際、「埼玉県戸田市から来ました」との自己紹介をしたら、会場から盛大な拍手が起き、これにも非常に感動した記憶が残っている。</p> <p>次回の視察の際は、より多くの委員に参加していただき、大人数で視察・現地の取組の体験学習ができればと思う。</p>
<p>委員長</p>	<p>委員から質問があればうかがいたい。</p>
<p>委員</p>	<p>本市も焼津市も自治基本条例の制定時期は平成26年で同時期だが、まちづくり市民集会などの取組にこれだけ差があるのは、焼津市の特長などで何か理由として挙げられるようなものは感じられたか、うかがいたい。</p>
<p>委員</p>	<p>焼津市では、町会加入率がほぼ100%であり、戸田市では約55%程度で6割を下回っている。グループトークでその点を話題にした際、焼津市の方は、戸田市の町会加入率の現状に非常に驚いていた。その部分は多少関係しているのではないか。</p>

委員	<p>本市は条例制定して5年が経過し、今回先進市を視察し、「焼津市との差」を感じるというか、目標ができたという感じがした。だが、焼津市のように大ワールドカフェを実施できればよいというわけではなく、本市はどう取組を進めていくか議論していくことが大切である。</p> <p>焼津市では、まちづくり市民集会在自治基本条例に明記されている。本市も焼津市のように条例に明記するのか、戸田市ならではの手法を見出し、条例で担保されなくても取組が進められる仕組みをつくっていくのか、この点は今後委員会で協議していくべき事項であると思う。</p> <p>例えば、自治基本条例は改正しないが、自治基本条例フォーラムを独立した一つの集会成为るように、市長へ提言していくことも戸田らしさといえるのではないか。</p>
委員	<p>同感である。実際のところ、条例改正は、改正の必要性や明確な根拠や背景がなければなかなか実施することは難しい。</p> <p>だが、市長からの諮問に対しどのような答申をするか、今回の視察を踏まえ、委員会としての方向性を見出していかなければならない。</p> <p>また、平成31年度の自治基本条例フォーラムも、現状のフォーラムのままで良いのか、実施手法を変更するのも検討が必要である。例えば、参加者の対象を広げ、近隣市町村までPRし呼び込むという考え方もある。いずれにしても、今後委員会で審議して考えていきたい。</p>
委員	<p>今回の視察で感じたことを生かし、次回のフォーラムに取り込んでみて、実績をつくっていくことが大切である。</p>
委員	<p>次回のフォーラムは、視察報告にあった内容をもとに、例えば、ふるさと納税を絡めたカフェを取り込んでみたり、市外の人にも対象に含めたりなど、今までよりさらに盛り上がるフォーラムとなるのではと今から楽しみである。</p>
事務局	<p><u>(2) 平成31年度実施事業について</u></p> <p>会議資料に基づき説明</p> <ul style="list-style-type: none"> • 自治基本条例推進委員会の開催（6回） • 自治基本条例フォーラムの開催（無作為抽出による参加者案内） • 他自治体の取り組みの視察 • 自治基本条例啓発品（名入れ）の作成・配布 • 自治基本条例啓発マンガパンフレットの配布 （年度早期に実施・小学校への説明に委員同行） • その他
委員長	<p>議題（2）について何か意見等ないか。</p>
委員	<p>特になし</p>

事務局	<p style="text-align: center;"><u>(3) 戸田市自治基本条例の見直しの検討について</u></p> <p>会議資料に基づき説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 今回委員会での審議案件 ・ 市民の定義について <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【戸田市自治基本条例】 一部抜粋 (定義)</p> <p>第3条 この条例における用語の意味は、次に定めるとおりとします。</p> <p>(1) 市民次に掲げるものをいいます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 市内に住所を有する者 イ 市内に通勤し、又は通学する者 ウ 市内で事業を営むもの エ 町会・自治会その他の地域における公共的活動を行う団体 オ 市内で奉仕活動その他の社会貢献活動を行う個人又は団体 <p>(2) 行政 (3) まちづくり 略</p> </div>
委員	<p>戸田市自治基本条例制定当時、「住民」として制定した場合、市内に勤務している市外の人等が、自治基本条例の適用を受けなくなることを懸念し、「住民」ではなく「市民」として定義したと推測する。</p> <p>その点の比較対象の一例として、焼津市自治基本条例では、「住民」と「市民」を明確に定義している。</p> <p>本市の自治基本条例も「住民」と「市民」の区分けや定義付けが必要であれば、明確な根拠を持って条例改正を行わなければならない。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【焼津市自治基本条例】 一部抜粋 (定義)</p> <p>第2条 この条例において、次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによります。</p> <p>(1) 住民 市内に住所を有する個人をいいます。</p> <p>(2) 事業者 市内に事務所又は事業所を有し事業を行う個人及び法人その他の団体をいいます。</p> <p>(3) 地縁コミュニティ 住民等が地縁によってつながりを持ち、お互いに助け合い、共通の目的を達成するために活動する団体をいいます。</p> <p>(4) 公益コミュニティ 構成員が共通の目的を持ち公益の推進に資する活動を行う団体で、市内に事務所を有し活動するものをいいます。</p> <p>(5) 市民 住民、市内に通学又は通勤する住民以外の個人、事業者、地縁コミュニティ及び公益コミュニティをいいます。</p> <p>(6) 市長等 (7) まちづくり 略</p> </div>

委員	「市民」の定義については、委員一人ひとりに見解をうかがいたい。
委員	議論を深めるという点で、大切なことではある。
委員長	次回、各委員に意見を求め議論を行うこととしたい。 よって、この件については継続審議とする。 本日の審議はこれをもって終了とする。
	<u>(4) その他</u>
事務局	《市長との意見交換会について説明》
委員長	議題(4)について何か意見等ないか。
事務局	平成30年度の実施は見送り、平成31年度に実施を予定している。
事務局	4 事務連絡 次回会議は平成31年4月中旬を予定している。
	5 閉会